

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称		令和 6 年度第 4 回ふじみ野市地域自立支援協議会			
開催日時		令和 7 年 2 月 6 日（木） 開会時刻 午後 2 時 閉会時刻 午後 3 時 3 0 分			
開催場所		大井総合福祉センター 4 階 多目的ホール			
出席した者の氏名		役職名	氏名	役職名	氏名
		会長	中島 修	委員	小林 郁子
		副会長	柳川 道子	委員	利根川 陽子
		委員	佐藤 麻由美	委員	加藤 千春
		委員	小菅 友美	委員	野原 眞二
		委員	河田 智美	委員	太田 肇
		委員	福應 渉	委員	藤川 友子
		委員	岩長 泰志	委員	村上 秀貴
		委員	田中 壽子		
会議の議題		(1) ふじみ野市就労移行支援事業等利用者に対する評価表について (2) 令和 6 年度ふじみ野市実施事業の報告について (3) 部会報告			
会議の公開又は非公開の別		公開			
会議の非公開の理由					
傍聴人の数		4 人			
会議の内容		別紙のとおり			
会議資料		別添のとおり			
事務局		福祉部障がい福祉課			
議事の確定	確定年月日	令和 7 年 2 月 7 日			
	記名押印 又は署名	役職名 会長 中島 修 ㊟ ※自署の場合は、押印不要です。			

発言の要旨

発言者	議題 ・ 発言内容
事務局	開会
中島会長	あいさつ
事務局	議事 1 (資料に基づき説明)
中島会長	前回会議での指摘を踏まえて修正をしたものになる。 質問等はあるか。
岩長委員	事業所への周知はどのようにする考えか。
事務局	年 3 回実施している就労系事業所ネットワーク会議で周知する予定である。 また、計画相談支援事業者への周知も必要と考えるので、相談支援部会を活用し周知を図りたい。
事務局	議事 2 (資料に基づき説明)
中島会長	質問等はあるか。
柳川 副 会 長	みんなアートは非常によい取組と思う。 自事業所でも幼稚園児から大人まで遊びの中で ひとつの表現行為として大変すばらしい。 ぜひ続けてほしい。
中島会長	りあんスペースについて、普段から足を運んでもらうことで利用者の相談のしやすさにもつながると思うので、非常によい取組だと思う。
相談支援 部 会 長 (代理：)	議事 3 2 月 1 8 日に相談支援事業所の連絡会を開催し、ケース検討を実施する予定。 3 月に部会を開催し、ケース検討の結果を報告する予定。

事務局)	今後、地域生活支援拠点の周知啓発について、事業所へのアプローチ方法を検討する必要があると感じている。
就労支援 部会長 (河田委員)	1月22日に第2回の就労系事業所のネットワーク会議を実施し、多くの事業所で利用者の確保が課題であるとのことで、合同相談会の実施などの案が出た。 1月21日に部会を開催し、令和7年度に市内の事業所を集めて合同相談会を実施する方向で検討中である。
こども部 会長(柳川副会長)	令和7年2月5日に医療的ケア児の協議の場を開催した。
権利擁護 部会長 (村上委員)	今年度は、「窓口における障がいのある方への配慮マニュアル」の見直しを予定している。年度内に部会を開催する予定。
精神部会 (田中委員)	1月29日に第2回の部会を開催し、3月5日に開催予定の訪問看護事業所を招いての講演会・勉強会について協議した。また、地域課題の抽出方法について協議した。 地域移行について、事業所から状況が見えづらいと感じるので、事業所向けに情報を発信してほしい。 令和7年度はコア会議を開催したい。 年度途中のデータではあるが、朝霞保健所管内の措置入院者数のうち3割がふじみ野市であり、自殺者数はワーストであった。
中島会長	質問等あるか。
藤川委員	医療的ケア児だった者が18歳を超えた後の支援がどうなっているのか確認したい。
事務局	法令に基づき18歳未満を中心に対象としているが、協議の場において18歳到達後の支援についても議題に上がっている。
中島会長	その他 その他何かあるか。

村上委員	社会福祉協議会の事業のうち関連がある 2 事業について報告したい。 まず、成年後見について、令和 6 年 1 2 月に市民後見への移行者が初めて出た。現在は高齢者向けだが、いずれ障害者向けにも拡大できればと思う。 次に、終活について、存命中の見守りから死後の葬儀まで社会福祉協議会で支援する死後事務事業を令和 7 年 4 月開始に向けて準備中である。 閉会あいさつ
------	--